### 5.5 因子得点によるカテゴリー別の特徴

因子分析の結果から各サンプルの因子得点を算出した。そして、A経営課題、Bショッピングモール選択要素、C配送事業者選択要素、D決済手段選択要素ごとにカテゴリー別の因子得点の平均値*により、その特徴を分析する。

回答者全体の因子得点の平均値はゼロであるから、カテゴリー別の因子得点の平均値がプラス又はマイナスに大きいことは、そのカテゴリーの特徴と考えられる。

#### 5.5.1 経営課題の特徴

表５－８は、経営課題に関するカテゴリー別の因子得点の平均値を示したものである。

カテゴリー別の特徴としては、計画者は、「Ａ１取引業務課題」と「Ａ２事業運営課題」を重要視している。

次に、個人サイドビジネスは、「Ａ２事業運営課題」を重要視している。専業者は、３つの課題を同程度に重要視している。

受注件数ランク別では、受注件数が多いランクになるに従って、各３つの課題を重要視する傾向が見受けられる。

表５－８　経営課題の因子得点のカテゴリー別平均値

| | A1（第1因子） | A2（第2因子） | A3（第3因子） |
|---|---|---|---|
| | 取引業務課題 | 事業運営課題 | 販売促進課題 |
| 実施者 | −0.042 | −0.065 | 0.009 |
| 計画者 | 0.331 | 0.516 | −0.075 |
| 兼業者 | −0.032 | −0.074 | −0.031 |
| 個人ｻｲﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽ | 0.023 | 0.394 | 0.017 |
| 専業者 | 0.248 | 0.247 | 0.298 |
| ～5件未満 | −0.126 | −0.122 | −0.138 |
| 5～20件未満 | −0.144 | −0.045 | −0.071 |
| 20～100件未満 | 0.109 | −0.112 | 0.775 |
| 100～1000件未満 | 0.114 | 0.157 | 0.011 |
| 1000件以上 | 0.027 | 0.230 | 0.092 |

#### 5.5.2 ショッピングモール選択要素の特徴

表５－９は、ショッピングモール選択要素に関するカテゴリー別の因子得点の平均値を示したものである。

---

* カテゴリー別の因子得点の平均値及び分散は、添付資料を参照。

カテゴリー別の特徴としては、計画者は、「Ｂ１代行･支援機能」と「Ｂ２出店・維持コスト」を重要視している。

次に、個人サイドビジネスは、「Ｂ２出店・維持コスト」を特に重要視し、「Ｂ１代行･支援機能」も重要視している。専業者は反対に「Ｂ２出店・維持コスト」がマイナスで重要度合いは弱い。

受注件数ランク別では、受注件数が多いランクになるに従って、「Ｂ１代行･支援機能」と「Ｂ２出店・維持コスト」がマイナス傾向で重要度合いが弱まる反面、「Ｂ３集客能力」がプラス傾向で重要度合いが高まる傾向がある。

表５－９　ショッピングモール選択要素の因子得点のカテゴリー別平均値

| | B1（第1因子） | B2（第2因子） | B3（第3因子） |
|---|---|---|---|
| | 代行･支援機能 | 出店･維持ｺｽﾄ | 集客能力 |
| 実施者 | −0. 046 | −0. 045 | 0. 001 |
| 計画者 | 0. 737 | 0. 720 | −0. 011 |
| 兼業者 | −0. 021 | 0. 004 | 0. 007 |
| 個人ｻｲﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽ | 0. 296 | 0. 600 | −0. 130 |
| 専業者 | 0. 102 | −0. 232 | 0. 065 |
| ～5件未満 | 0. 181 | 0. 431 | −0. 292 |
| 5～20件未満 | 0. 006 | −0. 070 | −0. 130 |
| 20～100件未満 | 0. 197 | −0. 087 | 0. 029 |
| 100～1000件未満 | −0. 226 | 0. 004 | 0. 148 |
| 1000件以上 | −0. 778 | −0. 427 | 0. 198 |

### 5.5.3 配送事業者選択要素の特徴

表５－１０は、配送事業者選択要素に関するカテゴリー別の因子得点の平均値を示したものである。

カテゴリー別の特徴としては、計画者は、「Ｃ２情報システム化」と「Ｃ３複合機能・コスト低廉化」を重要視している。個人サイドビジネスも計画者と同じ２つの因子を重要視する一方で、「Ｃ４定時集荷・省力化」がマイナスで重要度合いは弱くなっている。専業者については特徴点は少ない。

受注件数ランク別では、受注件数が多いランクが「Ｃ１配達日時確保・仕組み」を特に重要視する傾向が見受けられる。

表５－１０　配送事業者選択要素の因子得点のカテゴリー別平均値

| | C1（第1因子） | C2（第2因子） | C3（第3因子） | C4（第4因子） |
|---|---|---|---|---|
| | 配達日時確保・仕組 | 情報システム化 | 複合機能ｺｽﾄ低廉 | 定時集荷省力化 |
| 実施者 | −0. 009 | −0. 035 | −0. 023 | −0. 015 |
| 計画者 | 0. 102 | 0. 388 | 0. 259 | 0. 171 |
| 兼業者 | 0. 005 | −0. 013 | −0. 015 | 0. 018 |
| 個人ｻｲﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽ | −0. 127 | 0. 125 | 0. 109 | −0. 338 |
| 専業者 | 0. 078 | 0. 108 | 0. 033 | 0. 004 |
| ～5件未満 | −0. 059 | −0. 021 | 0. 080 | −0. 096 |
| 5～20件未満 | 0. 067 | −0. 064 | −0. 048 | −0. 137 |
| 20～100件未満 | −0. 169 | −0. 041 | −0. 036 | 0. 035 |
| 100～1000件未満 | 0. 117 | −0. 034 | 0. 019 | 0. 200 |
| 1000件以上 | 0. 409 | 0. 244 | 0. 009 | −0. 152 |

### 5.5.4 決済手段選択要素の特徴

表５－１１は、決済手段選択要素に関するカテゴリー別の因子得点の平均値を示したものである。

カテゴリー別の特徴は少ないが、専業者が「Ｄ１支払利便性」「Ｄ２手数料＋効果」を重要視している。

表５－１１　決済手段選択要素の因子得点のカテゴリー別平均値

| | D1（第1因子） | D2（第2因子） |
|---|---|---|
| | 支払利便性 | 手数料＋効果 |
| 実施者 | −0. 003 | −0. 010 |
| 計画者 | 0. 022 | 0. 081 |
| 兼業者 | 0. 003 | −0. 037 |
| 個人ｻｲﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽ | −0. 160 | 0. 067 |
| 専業者 | 0. 133 | 0. 260 |
| ～5件未満 | −0. 164 | −0. 103 |
| 5～20件未満 | 0. 221 | 0. 034 |
| 20～100件未満 | 0. 032 | −0. 007 |
| 100～1000件未満 | −0. 101 | 0. 073 |
| 1000件以上 | 0. 234 | 0. 019 |